

中世の日本 | 鎌倉時代の人々の暮らし

1 単元の概要

本単元は、鎌倉幕府の成立などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権を成立させ、その支配が全国に広まっていったことを理解させるとともに、中世の時代の特色を探ろうとする課題意識をもたせることをねらいとしています。鎌倉幕府の成立と支配の拡大は、社会や文化などさまざまな面で変化を引き起こしています。特に仏教は社会や文化に大きく影響し、禅宗は武士の気風に合い、幕府の保護を受けて広まりました。また新しい仏教は、そのわかりやすさなどによって庶民の生活に根付いていきました。ここでは武士や庶民の生活の中に定着した仏教という視点から、社会や文化の変化の様子を考えていきましょう。

2 学習のねらいと手だて (※教育課程編成資料の指導計画を参照)

- 武士の勢力が広まり、武家政権が成立したことと、その後の武家社会の展開を東アジア世界の歴史を背景に理解させるとともに、武家社会の発展や民衆の成長を背景に生まれた鎌倉時代の文化や仏教の特色について理解させる。
- 小学校で学習した人物や時代の流れのポイントとなる人物を取り上げ、武家社会の成立の様子や人々の生活の様子を分かりやすくとらえさせる。



鎮西上人坐像

3 指導計画 (総時数 4 時間)

学習活動と内容	○指導・支援上の留意点 ◆展示物など	時間
I 中世は、どんな時代なのか予想する。 ① 院政 ② 保元の乱・平清盛・平治の乱 ③ 日宋貿易	○ 幕府の成立等を通して、貴族から武士への政権の移行を確認させる。 ◆ 「鎌倉時代」パネル	1 時間
II 鎌倉幕府の政治の特色を調べる。 ① 源平の戦い ② 守護・地頭・鎌倉幕府・承久の乱 ③ 執権政治	○ 壇ノ浦の戦いで敗れた平氏と北九州の関わりに気付かせる。また、幕府の位置や承久の乱などを通して朝廷と幕府の関係についても着目させる。 ◆ 「北九州の平氏の伝承地」パネル	1 時間
III 四つのテーマに分かれて調べ、鎌倉時代の特色を説明する。 【テーマ】 ① 源平合戦と北九州とのかかわり ② 幕府支配が及んだ北九州 ③ 蒙古の襲来と九州の武士 ④ 北九州に広まった新しい仏教・文化	博物館での学習 ○ 事前に四つのテーマについて、役割を決め、どのようなことを調べるのかを具体的にイメージさせる。 ◆ 鎮西上人坐像 ◆ 陶製五輪塔 ◆ 本朝祖師絵伝(法然上人伝記絵巻) ◆ 「北九州市内の経塚分布図」パネル ◆ 青銅製経筒 ◆ 木造如意輪観音坐像 ◆ 木造釈迦如来立像 ◆ 金剛力士像	2 時間

4 学習展開例 (2時間扱い)

学習活動	○指導・支援上の留意点	◆展示物など
四つのテーマに分かれて調べ、鎌倉時代の特色を説明しよう		
① テーマに分かれて、博物館の各種資料を調べよう。		博物館での学習 1 時間
テーマ 1. 源平合戦と北九州とのかかわり ・ 源平合戦の経過を調べる。 ・ 北九州に残る平氏ゆかりの地を調べる。	○ 門司近辺のみならず、下関の赤間神宮や小倉南区の「隠蓑」などにも源平合戦と関わりがあることに気付かせる。	◆「鎌倉時代」パネル ◆「北九州の平氏の伝承地」パネル
テーマ 2. 幕府支配が及んだ北九州 ・ 北九州で守護・地頭に任命された一族などから、鎌倉幕府の支配が北九州に及んだことを調べる。	○ 「鎌倉時代」のパネルを見て、北九州で守護・地頭に任命された一族を確認させる。 ○ 大興善寺の金剛力士像などから、政治の影響だけでなく、文化の影響も受けていたことに気付かせる。	◆「鎌倉時代」パネル ◆金剛力士像
テーマ 3. 蒙古襲来と九州の武士 ・ 蒙古が九州に襲来した際の応戦の様子やその後の社会の変化について調べる。	○ 元軍がとった航路の地図から、現在の博多湾から長崎の平戸など、広い範囲に戦いが及んだことに気付かせる。	◆蒙古襲来絵詞
テーマ 4. 北九州に広まった新しい仏教・文化 ・ 北条氏ゆかりの寺にある金剛力士像や経筒、北九州で仏教を広げることに関与した鎮西上人について調べる。	○ 「北九州市内の経筒分布図」と寺との関係性を確認させる。 ○ 北九州には鎌倉時代に創建された寺院があることに気付かせる。 ○ 鎮西上人の生涯や吉祥寺との関係についての説明文を読み、鎮西上人の功績をまとめさせる。	◆陶製五輪塔 ◆青銅製経筒 ◆金剛力士像 ◆鎮西上人坐像 ◆如意輪観音坐像 ◆釈迦如来立像
② 調べて分かったことを報告・説明しよう。		学校での学習 1 時間
・ 学習室において、それぞれテーマ別に調べて分かったことを簡潔に報告・説明し合う。 ・ 鎌倉時代の特色をまとめる。	○ 聞き手には、新たな情報や分かったことなどの要点をメモさせる。話し手には、聞き手がメモを取りやすいようにキーワード化しながら要点を説明させる。	

5 博物館での学習

四つのテーマに分かれて調べ、鎌倉時代の特色を説明しよう

1 テーマに分かれて、博物館の各種資料を調べよう。

博物館での学習
1時間

北九州には、古代末から中世にかけての史跡がたくさんあります。

武家政権が成立する過程で激しく争った源氏と平氏の争いの跡の他にも、敗れ去った平氏の行く末を物語るものなど、身近に見ることができます。源頼朝が全国に守護・地頭を配置した段階で武家政権が確立したと言われていいます。政権の安定は人々の生活に変化を与え、農業・商業が発達しました。このように、古代から中世に移り変わるころの社会や人々の様子を各テーマに分かれて調べ、その変化や時代の特色についてまとめましょう。

● テーマ1～テーマ2



「源平の戦いと北九州」パネル



御所神社



殿墓

● テーマ3～テーマ4

北九州の地には北条氏などの進出とともに仏教も広がっていきます。鎮西上人が広めた浄土宗など、さまざまな宗派によって建てられた寺院も北九州に残っています。また仏教の広がりとともに、仏像や経筒などの仏教芸術も広まりました。一方では、蒙古軍が二度に渡り九州へ襲来しました。この戦いを通して幕府の北九州の支配体制が変化しました。このような政治や文化の両面から、中央政権とつながりを深めていった中世の北九州の様子やその変化を調べましょう。



大興善寺金剛力士像



蒙古襲来絵詞



「北九州市内の経塚分布図」パネル

2 調べて分かったことを報告・説明しよう。

学校での学習
1時間

調べて分かったことや気付いたことを、グループで発表し合い、平安時代後期の平氏政権と比べた鎌倉政権の違いや、人々の生活の変化などを考え、まとめましょう。

【テーマ1】源平合戦と北九州とのかかわり

源平の合戦を通して、平氏は北九州の地とどのようなかかわりをもちましたか。



主に門司区を中心に、城（門司城）や神社などを建て、勢力を広げる拠点となった。

【テーマ2】幕府支配が及んだ北九州

下の写真の資料と展示資料を見て、表をまとめましょう。



写真の資料名	金剛力士像
鎌倉幕府との関連	安置されている寺は、北条氏が建立したものであり、像はこの時代に栄えた文化を象徴している。
主な出土品	木簡 げた 土器など

【テーマ3】蒙古の襲来と九州の武士

蒙古襲来に関する資料を基に調べよう。

(1) 蒙古との戦いは、主にどこで行われましたか

福岡志賀島付近や博多湾岸
長崎県の壱岐や平戸、鷹島

(2) 二度の戦いを通して、幕府の九州への支配体制は、どのように変化しましたか。

北条氏一門が鎮西探題となり、北九州では豊前の守護が少弐氏から北条一門に変わった。

【テーマ4】北九州に広まった新しい仏教・文化

新しい仏教とそれに関係することがらを調べよう。



鎮西上人坐像

○ 鎌倉時代に新たに広がった仏教についてまとめよう

浄土宗や浄土真宗、法華宗（日蓮宗）、禅宗（臨済宗や曹洞宗）などが武士や庶民に広がった。

○ 鎮西上人についてまとめよう

比叡山で修行の後、法然の門下に入り、浄土宗の第2祖となった。1217年に現在の八幡西区に吉祥寺を建立した。

調べたことをまとめ、平安時代と比べた鎌倉時代の特色についてわかったことや気づいたことを裏面にまとめよう。

学校 1年 組